

日本触媒

こんなところに日本触媒

日本触媒の技術はさまざまな製品となって、人々の生活を支えています。



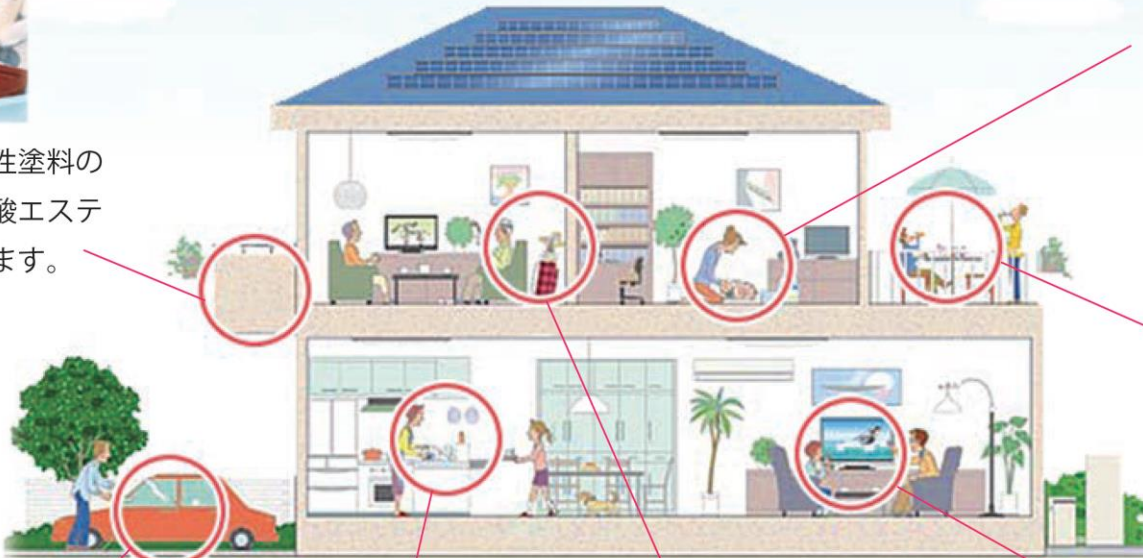
環境にやさしい水性塗料の原料に、アクリル酸エステルが使用されています。



紙おむつやペットシートに、高吸水性樹脂が使用されています。



リサイクル可能なペットボトルの原料に、エチレングリコールが使用されています。



自動車排ガスの浄化や焼却炉から排出されるダイオキシンの分解などに、触媒が使用されています。



各種洗剤原料に、セカンダリーアルコールエトキシレートや水溶性ポリマーが使用されています。



ゴルフボールのコア材に、アクリル酸誘導品が使用されています。



液晶 TV に、光学材料用アクリル樹脂やカラーフィルター用レジスト樹脂が使用されています。

後半中期経営計画「新生日本触媒2020 NEXT」

2025年の“ありたい姿”として「人の暮らしに新たな価値を提供する革進的な化学会社」を掲げるとともに、2017年度から2020年度まで4年間の中期経営計画「新生日本触媒 2020 NEXT」を定めて推進しています。既存事業の一層の強化を図りつつ、ライフサイエンス事業分野、エネルギー・資源事業分野、情報ネットワーク事業分野を中心に、当社の強みが活かせる新規分野にスピード感を持って挑み、持続的成長に注力していきます。

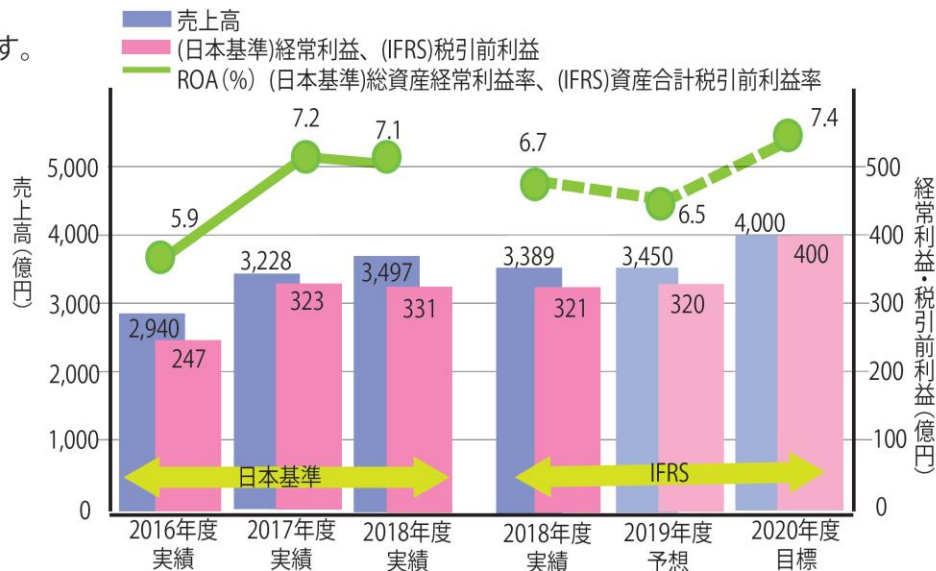
2025年のありたい姿

「人の暮らしに新たな価値を提供する革進*的な化学会社」

* 革進: 旧習・旧態を改めて、進歩を図ること(出所: 大辞林)

経営指標と数値目標

経営指標と数値目標	売上高	経常利益	ROA
2020年度数値目標	4,000億円	400億円	7.4%



重要課題に対する施策

① 高吸水性樹脂事業の競争力強化

開発力をさらに強化するとともに、サプライチェーン全体でコスト削減を推進しています。



ベルギー拠点高吸水性樹脂プラント (2018年7月増設)

② 新規事業・新規製品の創出加速

新規事業のターゲット分野として3分野8領域を選定しました。研究開発部門を中心とした組織体制の変革や、オープンイノベーション、M&Aなどの活用により、計画の達成へ向け進めていきます。



国内主要拠点



● 姫路製造所



● 大阪本社



● 東京本社



● 日本触媒
● グループ会社



● 吹田地区研究所



● 川崎製造所